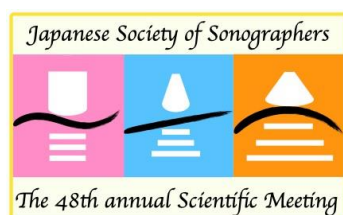


# 第48回日本超音波検査学会学術集会

Official Session 大会長企画

US Satellite Session

物品提供ご協力のお願い



- 会 期            2023年 6月10日（土） - 11日（日）
- 会 場            大阪国際会議場（大阪市北区中之島5丁目3-51）
- 大 会 長        小谷 敦志（近畿大学奈良病院 臨床検査部）

第48回日本超音波検査学会学術集会

大会長 小谷敦志

近畿大学奈良病院 臨床検査部



このたび、第48回日本超音波検査学会学術集会を2023年6月10日（土）～11日（日）の会期で、大阪国際会議場（大阪市）において開催する運びとなりました。

「エコー技術は、我々の永遠の誇りである」これは、私が随分前から抱いている理念です。超音波検査は、臨床の知識のみならず必要な所見を描出する技術がないと正確な診断に繋がりません。学術団体である本学会は、学術集会をはじめ多くの学術活動を開催して参りました。ところが2020年1月、にわかに関世界的流行となった新型コロナウイルス感染症（COVID-19）が出現し、その感染拡大の観点から多くの企画が中止や延期を余儀なくされました。今まで当たり前に行っていた技術の伝承ができなくなったのと同時に、全体的な学術意欲が低下したとの声を聞くようにもなりました。第48回学術集会は、今までの悔しい想いの殻を破って大空に飛び立ち、コロナ禍で失われた時間を取り戻す起点となるべく、日本全国どこにいても地域に関係なく学ぶことができ、エコー技術者が集うことに喜びを感じるものになりたいと考えています。それを実現させるために、大会のテーマに「超音波技術は、妥協せずに時空を飛びこえて伝承し、益々飛翔する」という想いを込めました。

第48回学術集会では、2つの新たな試みを計画しています。ひとつ目は、すべての会場に超音波装置を配備し、さまざまな企画において実技を含めた内容で行うことを予定しています。これは「エコー技術」の伝承を現実化させたもので、シンポジウムや教育企画などにおいてもこの方式を採用します。ふたつ目は、一般演題を含むすべての会場で繰り広げられる内容を、①会場、②リアルライブweb配信、③オンデマンド配信のトリプルハイブリッドでご参加・ご試聴いただけるようにいたします。これは、会場にお越しになっても自宅からでも、会期中はどこにいてもリアルライブで参加でき、後日の視聴も可能というものです。さらに学術集会の根幹である一般演題の発表は、今までどおり会場で口演発表していただく「現地オーラル」発表に加えて、ライブでの発表が苦手な方も事前収録で発表していただけるよう「プレコーディング」発表、また、勤務先やご自宅からでも会期中はどこにいてもweb接続によってリアルライブで一般演題を発表できる「リモートオーラル」発表も予定し、演者が自由に発表形式を選択できるようにします。これらはコロナ禍で開催された学術集会を経験したからこそ発案できた試みです。さらに、遠隔操作（走査）でエコー画像を視聴できる企画や、検査現場でエキスパートが実践する一連のエコー技術を学べる画像企画も準備を進めています。

学術集会の運営にあたりましては、本来参加される方々からの参加費を主として経費節減を十分に図りながらも充実した内容の企画を計画し、参加者に満足していただけるように運営をされるべきではありませんが、さらに充実感のある集会を行うためには関係各位様からのご支援を得なければ運営が難しい状況にあります。エコー技術者やそれに関わる方々が集い、時空を飛びこえて臨場感を味わえるように鋭意準備して参りますので、本学術集会の趣旨をご理解いただき、開催に向けて格別のご支援・ご協力を賜りますよう謹んでお願い申し上げます。

末筆になりましたが、貴社のますますのご発展を心よりお祈り申し上げます。

2022年11月吉日

1. 日程・会場（予定）

■日程：2023年 6月10日（土）13：50-14：50（60分）

■予定会場：メイン会場—大阪国際会議場 第1会場（10階 会議室1003）  
サテライト会場—相模原病院 超音波検査室

■席数：メイン会場—通常席数 540席 制限席数※ 290席

※新型コロナウイルスの影響により通常席数にて運営を行えない場合、席数を制限いたします。

■当日ライブ配信，オンデマンド配信（予定）

2. 募集品目：

■超音波検査装置あるいは超音波検査観察用端末（タブレットなど）や遠隔観察での付属ツール（アプリなど）の貸与

■必要数量

超音波検査装置あるいは超音波検査観察用端末（タブレットなど） 1台

超音波検査装置の遠隔観察での付属ツール（アプリなど） 必要数

■納品場所

超音波検査装置あるいは超音波検査観察用端末（タブレットなど）やアプリ

・・・・・・・・相模原病院

超音波検査装置の遠隔観察での付属ツール（アプリなど）

・・・・・・・・大阪国際会議場 第1会場（10階 会議室1003）

※手持ちカメラと、操作補助スタッフおよび撮影スタッフ各1名のお手配もお願いいたします。

※応募多数の場合は、実行委員会で選定いたします。

※2023年6月9日（金）の12時以降納品、6月10日（土）返却（予定）

なお、2023年1月～3月頃までにシミュレーションを行う予定としており、その際も当日借用予定の超音波装置の借用を希望いたします。

※車での搬入出希望

※プログラム内容や講師の希望により、超音波検査装置について大会事務局より要望をお伝えする場合がございます。

※企画内容が固まり次第、会場への設置などの詳細をご連絡させていただきます。

3. プログラム概要

相模原病院に搬入いただいた借用装置からのエコー画像を、webを通じて会場で視聴いたします。参加者は①メイン会場の会場スクリーン投影映像での観察、②ライブによるweb配信、③会期後のオンデマンド配信の3通りの方法でエコー画像の視聴が可能です。さらに超音波装置に既存の設定がある場合は、参加者個人用スマートフォンで視聴いただくことで、遠隔医療をより身近に感じいただこうと考えています。

プログラム内容は以下を想定しています。装置の特性や遠隔医療の実際を共有し、今後のエコー診断の在り方について理解を深めます。

- 1) ER現場を想定したライブエコーによる遠隔判読
- 2) 未経験者（あるいは初心者）の遠隔指示によるエコー評価
- 3) エコー病変の定量評価の遠隔指示

4. 申込期限：2022年12月28日（水）まで
  
5. 申込方法：  
第48回日本超音波検査学会学術集会 HPの「共催・展示・協賛募集」の申込フォームよりお申し込みいただけます。  
URL: <http://jss48th.umin.jp/>
  
6. 納品に関するご案内：申込締切後にご連絡をさせていただきます。
  
7. 超音波検査装置あるいは超音波検査観察用端末（タブレットなど）ご提供に関して、別途協賛金は発生いたしません。

### 1. 企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドラインについて

製薬企業の活動における医療機関等との関係の透明性・信頼性向上のため、医療機関及び医療関係者等に対する研究費、寄附、交流等の支出に関する情報を製薬企業が自社のウェブサイトで公開することに伴い、各社が当学術集会に対して行う協賛に関し、各社ウェブサイトで公開されることに同意します。

### 2. 日本製薬工業協会、日本医療機器産業連合会の透明性ガイドライン

本学会は、日本製薬工業協会および日本医療機器産業連合会が示す「企業活動と医療機関等の関係の透明性ガイドライン」に基づき、「貴社と医療機関及び医療関係者との関係の透明性に関する指針」に従い、学会等の会合開催にかかる費用を「学会名」「共催セミナー名」「機器展示」「広告掲載」「寄付」「物品提供」の通りに、貴社のウェブサイト上に公開することに同意します。

自然災害、火災、疫病、戦争、テロ、輸送機関の運行障害、停電、ネットワーク設備の損壊、行政機関の要請・指示・命令・規制など、主催者の責めによらない事由により、主催者が催事開催を制限・停止することとした場合、催事に関する費用の一部または全部を返金しない場合があります。